

消費者の自立を支援し、 福井県に定着した研究所をめざして

第二次中期3ヵ年計画（2004年度～2006年度）を策定し、「研究所がめざすもの」を掲げて3つの事業（啓発事業・調査研究事業・広報事業）を中心に事

業活動をすすめました。

また、事業規模拡大に伴い、理事会体制・事務局体制を強化しました。

研究所のめざすもの

- ① 「消費者の自立」を支援する研究所
- ② 消費者の視点に立ち、消費者の声が反映されるよう消費者行政・企業など地域社会に提言する研究所
- ③ 福井県における消費者団体の連携を支援する研究所
- ④ 暮らしと地域の生活・文化活動に役立つ機関として福井県に定着した研究所

啓発事業

2005年度より、福井県消費生活センターから「消費者講座」の委託を受けて、年間約50企画、1500人以上の県民に受講いただくことができ、「消費者の自立」支援活動が大きく広がりました。

JA や生協、福井県栄養士会などの関係機関と協同で、「子どもの食生活」「環境」「福祉」といったタイムリーなテーマでの講演・シンポジウムや、体験学習としての「食育サロン」の開催に加えて、学校をはじめ地域への出前講座にも積極的に出かけ、行政や各種団体とのネットワークづくりが大きく前進しました。



福井県消費生活センター委託事業
「消費者講座」



食育シンポジウム



福祉講演会



くらし見直し講演会



実修講座（県委託事業）



親子で楽しむ商品テスト
（県委託事業）



「食育体験サロン」で
さつまいもの植え付け



市民講座「ソーラーキッチン」

2004-2006

調査研究事業

定期継続調査である「消費動向調査」、「子どもの食生活と健康」調査、「消費者トラブル」調査など、研究所ならではのデータ・情報を収集して地域社会に提言し、新聞やテレビなどの報道機関にも取り上げられました。

県行政や生協関係からは調査研究事業を受託され

ますが、他の事業団体からも調査依頼が受けられるよう、消費者の視点に立った、地域経済に役立つデータ・情報収集能力をさらに高める必要があります。



消費動向調査

消費者トラブルレポート



子どもの食生活に関するアンケート調査
(2004年度は、小学校23校、中学校5校に協力いただき、約2500人の子どもとその保護者にアンケートを実施。)

広報事業

機関紙「さくら通り」の定期発行、ホームページリニューアル、調査報告書を報道機関や関係機関に配付するなど、積極的に情報発信しました。

研究所の広告塔の役割を果たしてきた「ひろば風」は年間30企画前後を開催し、多くのプロやアマチュアの方々にご活用いただき、多数のご来場をいただきました。



レポート各種



機関紙



ホームページ



陶と器のアクセサリー展

ひろば風

押し花展

